

(様式1) 計画の概要

①学校名:	高知県公立大学法人 高知県立大学		②所在地:	高知県高知市池2751-1			
③課程名:	多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座		④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	平成28年 4月1日	
⑥責任者:	看護学部長 中野綾美 社会福祉学部長 宮上多加子 健康栄養学部長 和田安彦		⑦定員:	20人	⑧期間:	1年間	
⑨申請する課程の目的・概要:	多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 ー高齢者ケア力の向上に向けてー ケアに必要な高齢者を地域包括ケア制度の中で引き上げていくためには、多職種がそれぞれの専門的な知識とチーム力を発揮して、高齢者が可能な限り健やかに暮らしていける力を支えることが必要である。高知県立大学の3学部が協力し、知識、技術、技能を修得するための講座を履修証明プログラムとして開講する。						
⑩4テーマへの該当の有無	無	⑪履修資格:	高知県立大学学則第9条又は高知県立大学大学院学則第7条に規定する本学への入学資格を有する者とする。				
⑫対象とする職業の種類:	看護師、保健師、介護福祉士、管理栄養士、栄養士の保健・医療・福祉従事者						
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ケアに必要な高齢者を地域包括ケア制度の中で引き上げていくためには、多職種がそれぞれの専門的な知識とチーム力を発揮して、高齢者が可能な限り健やかに暮らしていける力を支えることが必要であり、本教育課程では次の知識、技術、技能を修得する。(1)高齢者をアセスメントし、高齢者の自立度に適合したケアを提供方法する知識と技術、(2)高齢者と家族の選択を支える知識と技術、(3)多職種の連携力や事例カンファレンスなどに関する知識と技能			(得られる能力) (1)高齢者の健康を維持、ヘルスプロモーションを促進する能力、(2)認知症とその家族を支援する能力、(3)在宅ケアを促進する能力、(4)事例や現象を分析して対策を立てる能力、(5)多職種連携して問題解決に取り組む能力			
⑭教育課程:	開講科目「高齢者への福祉支援」「介護過程実践演習」「高齢者のフィジカルアセスメント」「認知症患者と家族への支援」「高齢者の食生活と住環境」「生活習慣病の治療と予防」「最新看護学知識の実践への活用」「高齢者福祉の現状と実践のための講座」により、高齢者ケアに関する基礎的な知識を修得するとともに、各科目において、実務家教員による実践的な演習を行うことにより、技術技能を修得させる。「チームアプローチⅠ」「チームアプローチⅡ」では、チーム医療、チームアプローチの考え方を理解し、その中でケアを提供する方法を学び、多職種の連携力や事例カンファレンスなどに関する知識と技能を修得させる。						
⑮修了要件(修了授業時数等):	所定の科目から選択して8科目以上(計120時間以上)を履修し試験に合格するとともに、修了報告書を提出して審査に合格すること。						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書						
⑰総授業時数:	150 時間	⑱要件該当授業時数:	106時間	該当要件	2、3	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	71.0%
⑳成績評価の方法:	筆記試験に合格、または修了報告書を提出して審査に合格すること。						
㉑自己点検・評価の方法:	高知県立大学 履修プログラム点検評価委員会でプログラムに対する評価を定期的に行う。受講生による授業評価、課題の修得状況のアンケートをおこなう他、講義内で検討される事例の分析などを通して受講生のニーズ・課題などについて検討し、随時講義内容を見直す。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	プログラム修了半年後に修了者にアンケートを行い、修了者の就職状況や修得した能力等について効果を検証する。						

②③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 高知医療センターとの包括的連携協定に基づき両者で構成している各部会において、カリキュラム検討・編成を行う。 (自己点検・評価) 高知医療センターとの包括的連携協定に基づき両者で構成している各部会において、プログラムに対する評価を行う。
②④社会人の受講しやすい工夫:	社会人が受講しやすい、休日・週末に開講する。
②⑤ホームページ:	(URL) 製作中

事務担当者名:	竹内 裕司	所属部署:	事務局教務支援部教務第二課
連絡先:	(電話番号) 088-847-8580 (E-mail) takeuchi@cc.u-kochi.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。